



2026年6月29日

各位

会社名 MIRAINI ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 木村 守孝  
 (コード番号: 546A 東証プライム・名証プレミアム市場)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 小山 琢磨  
 (TEL: 050-3190-3111)

## 2027年3月期の連結業績予想の修正(上方修正)および 配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、2026年5月15日に公表しました、2027年3月期の連結業績予想および配当予想を、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 連結業績予想の修正について

(1) 2027年3月期 中間期連結業績予想数値(2026年4月1日~2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 230,000	百万円 5,000	百万円 4,000	百万円 9,500	円 銭 275.27
今回修正予想(B)	272,000	7,600	6,500	11,200	320.96
増減額(B-A)	42,000	2,600	2,500	1,700	—
増減率(%)	18.3	52.0	62.5	17.9	—

※経営統合に伴う特別利益(負ののれん発生益)の影響を除いた1株当たり中間純利益は118円15銭となります。

(2) 2027年3月期 通期連結業績予想数値(2026年4月1日~2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 500,000	百万円 12,000	百万円 10,000	百万円 13,500	円 銭 391.17
今回修正予想(B)	542,000	14,600	12,500	15,200	439.84
増減額(B-A)	42,000	2,600	2,500	1,700	—
増減率(%)	8.4	21.7	25.0	12.6	—

※経営統合に伴う特別利益(負ののれん発生益)の影響を除いた1株当たり当期純利益は235円5銭となります。

### (3) 修正の理由

2027年3月期中間期の連結業績予想につきましては、半導体メモリの需要拡大や価格上昇に加え、インド市場向けEV2輪用電子部品の需要増加などを背景に、売上高は前回予想比420億円増加の2,720億円となる見込みです。

また、売上高の増加に伴い、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益につきましても、いずれも前回発表予想を上回る見込みです。

なお、第3四半期以降の業績予想については、前回公表値を据え置いております。

この結果、中間期における業績の上振れが通期業績にも反映される見込みであり、通期の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回発表予想を上回る見通しです。

また、2026年4月1日付で公表いたしました「特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当第1四半期においては、経営統合に伴う特別利益として負ののれん発生益を計上する見込みであり、現時点での見込額70億円を本業績見通しに織り込んでおります。

（参考）佐島電機及び萩原電気ホールディングスの前期連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
佐島電機（3Q累計実績） （2026年5月期）	121,395	2,820	2,840	1,948	135.61
佐島電機（通期予想） （2026年5月期）	160,000	3,600	3,500	2,600	180.96
萩原電気ホールディングス （2026年3月期）	271,918	6,269	5,647	1,514	151.94

※佐島電機の2026年5月期連結業績は、2025年6月1日～2026年2月28日までの9か月間の数値となります。通期業績のご参考として2026年1月14日開示の通期業績予想値を併記しております。

※萩原電気ホールディングスの2026年3月期連結業績は、2025年4月1日～2026年3月31日までの12か月間の数値となります。

## 2. 配当予想の修正について

### （1）2027年3月期配当予想

	1株当たり年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 —	円 銭 48.00	円 銭 93.00
今回修正予想	—	48.00	—	48.00	96.00

### （2）修正の理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、成長投資、財務健全性および株主還元のバランスを勘案のうえ、配当性向40%～50%を目途とした安定的かつ継続的な配当の実現を基本方針としております。

この方針に基づき、中間期連結業績予想の修正を踏まえ、1株当たり配当金について、2027年3月期中間配当予想を45円から48円に上方修正いたします。

なお、2026年4月1日付で公表いたしました「特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、経営統合に伴う負ののれん発生益については、一時的な会計処理上の利益であり、実質的な資金創出を伴わないため、安定的な株主還元の観点から配当原資には含めない方針です。

(参考) 佐鳥電機及び萩原電気ホールディングスの前期の配当

	1株当たり年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
佐鳥電機 (2026年5月期)	—	44.00	—	00.00	90.00
萩原電気ホールディングス (2026年3月期)	—	90.00	—	95.00	185.00

※佐鳥電機は、2026年2月18日開催の取締役会において、2026年5月期の期末配当に代えて、2026年3月31日を基準日とする1株当たり46円の臨時配当を実施することを決議し、実施しております。

※経営統合に伴い、佐鳥電機の普通株式1株に対して、当社の普通株式1.02株を、萩原電気の普通株式1株に対して、当社の普通株式2株を割当て交付いたしております。本資料における統合前の各社の配当金は、いずれも当該株式割当て交付前ベースの数値を記載しております。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上